



人類に  
奉仕する  
ロータリー

クラブ運営方針 「ロータリー 再認識！ 再発見！」

2016-2017年度

# 広島北 ロータリークラブ週報

Rotary  
Club of Hiroshima North

2016年8月25日発行 Vol. 1483

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム 氏  
国際ロータリーテーマ

**ROTARY SERVING HUMANITY**  
人類に奉仕するロータリー

■会長 中山 昌実 ■幹事 岡部 知之  
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530  
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/  
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

## 本日の例会

2016年8月25日(木)  
第2282回

【オープン例会】

ロータリーソング	「われら広島北ロータリー」
来客紹介	親睦委員会
会長時間	
幹事報告	
委員会報告	
同好会報告	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	「広島カープ 炎のストッパー」 津田恒美物語
	演劇集団よろずや 主宰 寺田 夢酔 氏

新谷 欽史 会員(シタニ キンジ)  
株式会社 代表取締役社長  
職業分類: 鮮魚仲卸  
推薦者: 金井次郎会員・三保二郎会員  
所属委員会: 親睦、社会奉仕  
その他: 1969年3月生まれ



堤 大地 会員(ツミ ダイチ)  
堤防水塗装工業(株) 代表取締役  
職業分類: 建築防水工事  
推薦者: 金井次郎会員・山下正司会員  
所属委員会: 親睦、社会奉仕  
その他: 1976年10月生まれ



## 前回の例会

2016年8月18日(木) 第2281回

【ガバナー公式訪問】

ロータリーソング	「われらの生業」
来客紹介	親睦委員会
入会式	
連続出席表彰	
会長時間	
幹事報告	
委員会	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	「ガバナー公式訪問」 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 田原 栄一 氏

## 連続出席表彰



左から、  
8年 上田会員  
20年 山下 江会員  
8年 水野会員

おめでとうございます！



また、20年連続出席  
の山下 江会員には、  
クラブより記念品が贈  
られました。

これからも連続出席を  
続けてください！

## 入会式

本日、新会員2名の方の入会式が行われました。公式訪問ということもあり、特別に田原ガバナーより会員バッジを着けて頂きました。



## 会長時間

会長 中山 昌実

本日は田原ガバナーを迎えての公式訪問です。田原ガバナー、藤村副代表幹事、静川ガバナー補佐、澤田補佐幹事ようこそお越しく下さいました。会員一同ご歓迎申し上げますと共に厚く御礼申し上げます。田原ガバナーには後ほど卓話の時間及びフォーラムにていろいろとご指導頂けること楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

今月は「会員増強・新クラブ結成促進月間」です。田原ガバナーはガバナーズレターにおいて「会員増強はロータリアンの義務として



て皆さま方と協議し、非常にユニークなフォーラムシステムを先ほど会長から説明を受け、非常に面白いフォーラムのやり方だと、今まで 25 回クラブを訪問しておりますが、初めての経験で大変楽しみにしております。

さて、RI 会長ジョン・ジャームは、“Rotary Serving Humanity”「人類に奉仕するロータリー」を掲げました。これは非常にシンプルですが、私は1月のサンディエゴの国際会議場で感動いたしました。実は、多くのロータリーから、「これは、我々が何をすべきかを示しており、人類への奉仕は人生最良の仕事である」と絶賛のメールが寄せられているのです。

彼は、「人類への奉仕はロータリーの礎であり、ロータリーの一員であることは、最初は小さな機会と思っても」、「ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会であり、さらに人類へのロータリー奉仕を通じて、より良い世界をつくる道である」と。

「ロータリーは今、岐路に立っています。来年度はホリオ撲滅の可能性があるので、今から準備をしておく必要があります。ホリオ撲滅に我々ロータリーが果たしてきた役割を、クラブを通じて地域社会に認知してもらい、ロータリーの入会こそが世界を変える方法であることを強調してください。そして、社会貢献への熱意を持つ職業人が集うロータリーの独自の力を生かせば、大きな目標を達成することができる」と、彼は述べています。

ロータリーの前進には、当然、会員増強が必要ですが、ただ単に数を増やすことではなくて、「将来リーダーとなる人を入会させなさい」と。「ロータリーの伝統を継続する名誉を与えられた私たちは、このような奉仕を行っていく責務がある」と、ジョン・ジャームは述べています。

また、ジョン・ジャーム RI 会長は、昨年度と同じく五つの強調事項を提言しておりますが、皆さんご存じのとおりですが、会員増強と維持、財団への寄付、オンラインツールの利用、新世代、そして公共イメージですが、それらの五つの強調事項にそれぞれ目標が掲げてありますので、その組み合わせが会長賞につながりますので、広島北 RC におかれましては、ぜひ会長賞にチャレンジしていただきたいと思っております。

加えて、ジョン・ジャーム RI 会長は、2016-17 年度、11 の目標を掲げました。私が今から挙げます地区運営方針と、ほとんど同じです。オーバーラップしますので省略させていただきたいと思っております。そこで、ジョン・ジャーム RI 会長のテーマを受け、私は、実は2年半前から考えていたわけです。全く合致したわけです。“Vocational service only brings about happiness and peace”、すなわち「奉仕の中にこそ幸福(幸せ)と平和がある」というテーマを掲げたのです。その意図するところは二つあり、職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、人類の最大の敵であるがん予防の普及推進です。

前者の職業奉仕の実践強化には、今世紀に入り、我々の社会生活は目まぐるしく進歩いたしましたけれども、道徳観の倒錯によって、政治、経済、科学等のさまざまな分野で不祥事が起きております。それで、我々ロータリーは、それらを防止するために何をすれば良いかです。そこで私は、職業奉仕の理念を実践するための二つの行動指針が必要と考えました。すなわち、一つは「ロータリーの行動規範」の遵法です。今日、2人の新入会員の方々に、そこにありますが、それをぜひ読んでいただきたい。それと、もう一つは「四つのテスト」の言行です。これら二つは、職業倫理の高揚と人格を向上させ、究極的には我々に幸せをもたらすからです。まさに、ポール・ハリスの言う「奉仕の生活」は「幸福の生活」を意味し、平和につながると考えます。

後者のがん予防の普及推進については、わが国が抱えている大きな社会問題、2025 年問題、皆さん、ご存じでしょうか。読売新聞の 8 月 15 日に 75 歳以上のがんという、私と一緒にがんを戦ってきました日本対がん協会の会長、垣添忠生先生が総説を 2 ページにわたって書かれています。これと全く同じことなので

す。2025 年になりますと、団塊世代が後期高齢者になるのです。ということは、あと 9 年後は一番上に 70 歳代がきて、完全な逆ピラミッドになるのです。そうすると何が起きるか。2025 年には、がん難民が大発生するのです。今、がんは 2 人に 1 人かかりますが、2025 年には 3 人に 2 人がかかる。そして、がん患者の約半分が 75 歳という、恐ろしい時代が来るわけです。

同時に、年寄りから血液が採れませんから、血液がだいぶ少なくなり、それから、看護師がだいぶ少なく、みとり場がなくなるということです。そこで今、厚生労働省が地域包括緩和ケアということを強調しているわけです。

そこで、この 2025 年問題に対して、我々ロータリーが、一人一人が危機感を持って、ロータリーとして対策を立てる必要があると考えたのです。

それは、ロータリー戦略分野の重点分野「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を3年間の戦略計画として立ち上げ、地区奉仕プロジェクト委員会の中に、がん予防推進委員会を設置したのです。委員長は、今日、随行幹事として来ていただいている藤村教授にお願いしております。その目的は、ロータリー自身および高齢者社会にニーズを満たす奉仕活動「がん予防の普及推進」の実践を通じて、がんになっても安心して暮らせるよう、ここが重要なのです、自己責任に基づく健康管理を目指すものです。

その目的が二つあり、一つは我々大人の場合ですが、一人一人が、がん予防を生活習慣病として把握して、がんの一次予防、たばこをやめる、生活習慣を変える、これを一次予防といいます。そして二次予防、がんを早期に発見して早期治療する、これを二次予防といいます。によってもたらされる健康寿命の延長と、健康経営学をご存じでしょうか、すなわち企業従業員の健全な心と身体を戦略的につくり、もって健全な経営を維持することを推進することです。もう一つは、我々ロータリーのドクターが職業スキルを生かして、青少年へのがん教育です。

私は、今日ここで強調したいのは、がん予防とがん教育は、健康に生きるための組織づくりであり、ロータリー自身のみならず、家庭、職場、地域社会の人々の命を守り、さらにロータリーを将来担う若い人たちが健康に生きるために必要なことと考えたわけです。国際ロータリー第 2710 地区が、がん罹患率・がん死亡率が最も低く、がんになっても安心して暮らせる地区に、皆さん、頑張ろうではありませんか。

ここで、がん予防に関して、私のロータリーモメントをご披露申し上げたいと思っております。

昭和 16 年、肺結核症で父と私が枕を並べる闘病生活の末、父の死と引き換えに私は生き残りました。残された母と 5 歳の私は苦難の道を歩むことになりましたが、幸いなことに医学の道に進むことができました。そして今日、病理学者として 58 年間、がん予防一つに取り組み、得られた研究成果をがん医療の現場、すなわち、がんを診断するのは、ここにたくさんおられます臨床の先生ではありませんで、病理がするわけですが、その確定診断をするのに、私、遺伝子を加えた分子病理診断を実践しました。同時に多くの、10 名以上の教授の後継者を育成することができました。

また私は、先ほどご紹介にございましたように、昭和 56 年に広島中央 RC に入り、「四つのテスト」に感動したのです。そして、うれしいことに広島の財界、広島大学、広島県医師会、広島市医師会等の支援により、公益財団法人広島がんセミナーを設立することができたのです。以来、今日まで毎年、国際シンポジウム、がん予防のための県民公開講座、若い研究者への支援等の事業に取り組んできたのです。

このように今日まで、がんと闘う研究と事業に取り組んでこられたのは、真摯にがん向き合い、自分の生活の基盤となるロータリーの理念を実践した結果であり、もし私がロータリーに入会していな



理念と同じです。

広島北ロータリーの皆さん方におかれましては、RI 会長テーマと私のガバナー信条を十分理解・咀嚼していただき、ロータリー財団 100周年をお互いに共有して、当クラブの大きな目標に向かってまい進され、見事にそれらを達成されんことを心から切に願って、私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

■出席報告 出席委員会

2016年8月18日(木) 会員数 94名  
 出席 77名 欠席 17名 (例会出席率 81.91%)  
 来賓 4名 ゲスト 1名  
 7月28日例会 修正後出席率 100%  
 7月度平均出席率 100%

■来客紹介 親睦委員会

田原 栄一 様(ガバナー)  
 藤村 欣吾 様(副代表幹事)  
 静川 周 様(グループ6ガバナー補佐)  
 澤田 英治 様(ガバナー補佐幹事)  
 川上 武 様(入会予定ゲスト)

■次回例会案内 2016年9月1日(木)

卓話 「新会員自己紹介」  
 福永誠一会員/古田裕三会員/西津真治会員  
 食事 洋食

ガバナー・会長幹事懇談会

例会に先立ち、【ガバナー・会長幹事懇談会】が開催され、クラブの活動や現状などがガバナーに説明し、アドバイスなどを頂戴しました。



公式訪問フォーラム

例会終了後のフォーラムでは、「今後の広島北RCが元気なクラブであり続けるための戦略」というテーマで、年代・ロータリー歴別に分けた各テーブルでディスカッションを行いました。ガバナー、副代表幹事、ガバナー補佐にもディスカッションに加わって頂き、活発な討議が行われました。



今日一枚  
 緊張の面持ちの新会員のお二人と、  
 なんだか笑顔?の推薦者。